

短時間・単発で働くスポットワークの求人倍率は 2.46 倍
スポットワーカー平均賃金は 1,182 円、通常のバイト賃金より 8 円安い
-スポットワークマーケットデータレポート（2024年8月度版）-

多様な働き方の調査研究機関「ツナグ働き方研究所(<https://tsuna-ken.com/> 拠点：東京都中央区/所長：大野博司)は、ここ数年で広がりを見せる「短時間・単発で働くスポットワーカーの市場」について定点観測する「スポットワークマーケットデータレポート」を毎月発表しています。
 本レポートでは、2024年8月度最新データについて、とりまとめましたのでご報告いたします。
 ※レポート詳細はこちら：https://tsuna-ken.com/research_report/202408_spotwork-8/

【トピックス】

1. スポットワークの求人倍率は 2.46 倍。前年差+0.97 ポイントと大幅な伸び。
2. 新規ワーク数は、前年比+8.0%。主要職種では倉庫内・軽作業が前年比+79.8%と伸長。
3. スポットワーカーの平均賃金は 1,182 円。通常のバイト賃金より 8 円安い。

■ 1. スポットワークの求人倍率は 2.46 倍。前年差+0.97 ポイントと大幅な伸び。

2024年8月度のスポットワーク求人倍率は 2.46 倍で、前月差-0.42 ポイント、前年差+0.97 ポイントとなりました。例年8月は前月より求人数が減少し求職者数が増加する傾向にあり、その傾向どおり、求人数は-13.8%、求職者数が+1.0%という結果になりました。

第II章 スポットワーク求人倍率

Research materials

スポットワーク求人倍率推移/2024年8月



出典) 単発バイト求人サイト「ジョットワークス」2020年8月～2024年8月データを加工
 ■求人数：ジョットワークスにおける当月のワーク出稿数 ■求職者数：当月登録UU数+前月以前登録者の応募UU数

■ 2. 新規ワーク数は、前年比+8.0%。主要職種では倉庫内・軽作業が前年比+79.8%と伸長。

先行景気の先行指標とも言われる新規ワーク数は 92,222 件。前年比+8.0%と 4 か月連続で前年を上回りました。主要職種では倉庫内・軽作業が前年比+79.8%と最も伸びが高くなっています。

職種別新規ワーク数・伸び率推移/2023年8月～2024年8月



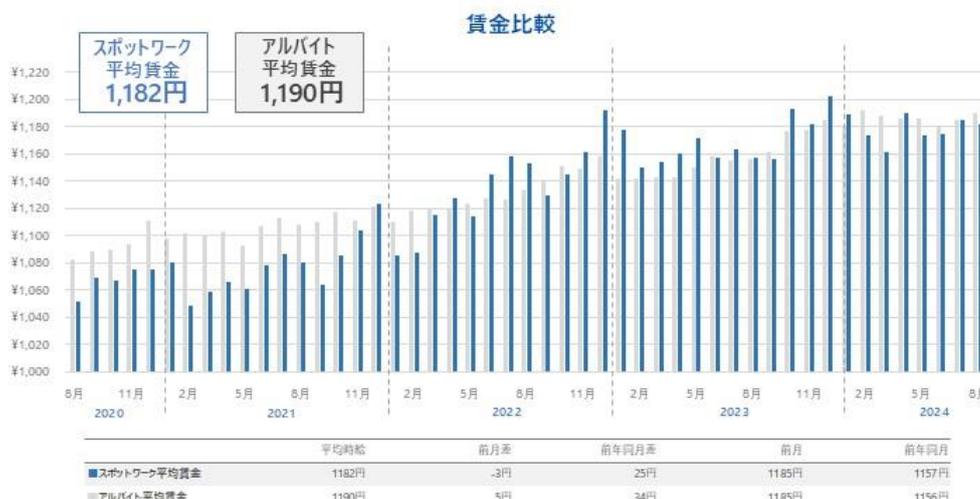
出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」2023年8月～2024年8月データを加工

■ 3. スポットワーカーの平均賃金は 1,182 円。通常のバイト賃金より 8 円安い。

2024 年 8 月度のスポットワーク平均賃金は 1,182 円 (首都圏・関西圏・東海圏の 3 大都市圏)。前月差-3 円、前年差+25 円となりました。通常のアルバイト平均賃金は 1,190 円 (※リクルート発表「アルバイト・パート募集時平均時給調査」との比較では 8 円安く、アルバイト賃金が上回っています。

主要 3 職種で最も賃金差が大きいのは、コンビニスタッフでスポット 1,117 円、アルバイト 1,088 円と、スポットワーク賃金が 29 円高くなっています。

スポットワーク・アルバイト賃金比較/2020年8月～2024年8月



出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」3大都市圏平均賃金2020年8月～2024年8月データ
リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」2020年8月～2024年8月を加工

出典)

単発バイト求人サイト「ショットワークス」2020年8月～2024年8月データ

総務省統計局「労働力調査(詳細集計)2024年(令和6年)4～6月期平均」

リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」

■スポットワークマーケットデータレポートとは

・スポットワークマーケットの定義

スポットワークとは、短時間・単発で働き「継続した雇用関係」のない働き方を指します。その中でも、雇用契約を結ばない“ギグワーク”と、単期雇用契約を結ぶ“単発バイト”の2種類に分類されます(ギグワークの代表例として、ウーバーイーツ配達員が挙げられます)。こうしたワークスタイルで働く個人、活用する企業の市場がスポットワークマーケットです。

・マーケットの現状

スポットワーカーは、コロナ禍を契機に急増、今後さらに広がりを見せていくことが予見されます。

個人) 働き方改革による残業規制、コロナ禍による休業や勤務時間減少で、追加就労意欲が増大

企業) 生産性向上観点から、ムダやムラのない=必要な時に必要な人数を配置する人件費最適化の高まり

技術) タイムリーかつオンデマンドなマッチを提供するスポットワーク求人事業者の参入

・定点観測する意義

総務省統計局の「労働力調査」では、2018年からILO基準の「未活用労働指標」を導入しました。例えば、その中にある「追加就労希望就業者」は「広義の失業者」とも言われる労働者です。現状の就労に追加してスポットで働くことは、労働者の収入安定、すなわち広義の失業率の改善につながります。一方、マクロ的に捉えると、潜在的な労働力活用は国力の向上に寄与することになります。こうした社会的意義と接続する観点から、本マーケットを定点観測し、市場規模の動向、有益なトピック、内在する課題などを可視化するデータレポートを発信しています。

■ツナグ働き方研究所とは...

株式会社ツナググループ・ホールディングス(本社:東京都中央区/代表取締役兼執行役員社長:米田光宏)を母体とする、「多様な働き方」の調査研究機関(2015年設立)。研究所では、企業人事や労働法制の分野で活躍する識者らとともに、施行される労働法制の要所と着眼点を解説していくほか、改正に至るまでの経過や背景も記録・分析しながら「あるべき姿」を提言。「働く」を取り巻くあらゆる労働法制の調査・研究機関として「雇用の未来」を拓きます。

<https://tsuna-ken.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

ツナグ働き方研究所(株式会社ツナググループ・ホールディングス)

担当:和田(わだ) tsuna-ken@tsunagu.co.jp

【会社概要】

社名:株式会社ツナググループ・ホールディングス

住所:〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビル7・8階(受付8階)

代表者:代表取締役兼執行役員社長 米田光宏

資本金:701,836千円

従業員数:690名/グループ合計(2023年9月30日現在)

URL: <https://tghd.co.jp>

【取材・報道関連に関するお問合せ先】

株式会社ツナググループ・ホールディングス

広報担当 Mail: tghd-info@tsunagu-grp.jp